

2020年2月17日

各位

会社名： ノーリツ鋼機株式会社
 代表者名： 代表取締役社長 岩切 隆吉
 (コード：7744 東証第1部)
 問合せ先： 執行役員 経営管理本部長 形部 由貴子
 (TEL：03-3505-5053)

連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ

ノーリツ鋼機株式会社（以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、当社連結子会社の株式会社日本再生医療（以下「JRM」）について、当社保有の全株式を株式会社ジーンテクノサイエンス（以下「GTS」）へ譲渡することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式譲渡の理由

当社では、2013年10月にJRMを設立以来、小児先天性心疾患に対する再生医療等製品の事業化に向けてインキュベーションを進めてまいりました。2016年5月には、「3年以内の承認を目指す」とし、グループの中核事業領域への発展に向けて経営資源の投下を継続してまいりました。しかしながら、現在まで開発進捗が遅れている状況を鑑み、当社としてJRMの今後の事業展開について様々な角度から検討を進めた結果、当社の出資先でもあるGTSに譲渡し、経営資源を集中させることでGTSと共に事業の成長を目指す環境を作ることが最善であると判断いたしました。

2. 異動する子会社（株式会社日本再生医療）の概要

名称	株式会社日本再生医療	
所在地	東京都港区芝大門2丁目5番5号	
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野口亮	
事業内容	再生医療技術・製品、細胞医薬品の研究開発 当該技術・製品の顧客に対する技術提供及び製品・サービスの提供	
資本金	10百万円	
設立年月日	2013年10月16日	
大株主及び持株比率	ノーリツ鋼機株式会社 94.7% 株式会社ジーンテクノサイエンス 5.3%	
上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社は当該会社の発行済株式を94.7%保有しております。
	人的関係	JRMの取締役である岩切隆吉は当社の代表取締役を兼任しております。また、JRMの代表取締役である野口亮は当社のグループ会社の取締役を兼務しており、監査役である田崎あづさは当社の従業員であります。
	取引関係	当社は、上述のとおりJRMの主要株主かつ筆頭株主であり、関連当事者に該当します。

当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
純資産	798百万円	515百万円	230百万円
総資産	836百万円	536百万円	254百万円
1株当たり純資産	6.25円	4.03円	1.80円
売上高	—	—	—
営業利益	▲438百万円	▲282百万円	▲282百万円
経常利益	▲473百万円	▲282百万円	▲282百万円
当期純利益	▲473百万円	▲282百万円	▲285百万円
1株当たり当期純利益	▲4.58円	▲2.21円	▲2.23円
1株当たり配当金	—	—	—

(注) 本件株式取得に伴い、取締役の岩切隆吉、監査役の田崎あづさの両氏は本日付で辞任届を提出しております。

3. 株式譲渡の相手先（株式会社ジーンテクノサイエンス）の概要

名称	株式会社ジーンテクノサイエンス	
所在地	東京都中央区新川一丁目2番12号	
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 谷 匡治	
事業内容	バイオ新薬の研究開発、バイオシミラーの開発	
資本金	611百万円（2019年5月31日現在）	
設立年月日	2001年3月1日	
純資産 （2019年9月末現在）	2,816百万円	
総資産 （2019年9月末現在）	2,243百万円	
大株主及び持株比率 （2019年9月末現在）	ノーリツ鋼機バイオホールディングス合同会社 大友 宏一	34.26% 6.95%
上場会社と 当該会社の関係	資本関係	当社は、子会社であるノーリツ鋼機バイオホールディングス合同会社を通じて GTS の普通株式 9,471,832 株（持株比率 34.26%）を保有しております。
	人的関係	GTS の取締役である野口亮は、当社のグループ会社の取締役を兼務しております。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該当状況	当社は、上述のとおり GTS の主要株主かつ筆頭株主であり、関連当事者に該当します。

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	121,000,000株
譲渡株式数	121,000,000株
譲渡価額	0百万円
異動後の所有株式数	0株

価額については、JRMが既に2016年10月にGTSより出資を受けている状況を鑑み、決定いたしました。

5. 日程

取締役会決議日	2020年2月17日
契約締結日	2020年2月17日
株式譲渡実行日	2020年2月17日

6. 今後の見通し

本件による当社の今期連結業績への影響は軽微です。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (2019年11月13日公表分) 及び前期連結実績

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2020年3月期)	68,000	4,000	1,200	700
前期連結実績 (2019年3月期)	63,924	5,538	5,439	2,953